

朝の運動場は、サッカー、ドッチボール、おにごっこに加え、なわとびが始まった。どの学年も冬休みはなわとびに挑戦することになっている。それにしても、朝から半袖半ズボンで走り回っているあの子たちは、どこの星から来たのだろうか▼自分が小学生だった頃、「子どもは風の子、大人は火の子」と言われたことを思い出す。「かけざん名人」をめざす2年生が校長室に突入してくるが、「校長室はあったかいな～」とうれしそう▼朝、2年生の教室を外から覗いてみたら、男の子が駆け寄ってきてくれて、開口一番「クリスマスまで残り10日を切った」と嬉しそうに話してくれた。この男の子は、1か月以上も前に、サンタさんに手紙を書いた。内緒でどんな手紙を書いたか教えてもらったが、あれから1ヶ月たったのか▼2学期も残り1週間余りとなった。先生方は、個別懇談のかたわら、通知表の準備、冬休みのたよりの準備と忙しい。「師走」は先生も走るというが、そもそも「師」は「お坊さん」とも聞く。実際、走っているのは、おにごっこチームとかけざん名人。先生方は目が回っている▼いよいよ冬休みになります！たよりに書かれたその言葉は、実は担任の気持ちなのかもしれない。2年生の女の子が、「校長先生、冬休みは、どうして短いのか？」と聞いてきた▼わたしはこの質問に正しく答えられないので、こう答えた「楽しみだね」